



香川県学習状況調査(R5.11.14)の結果より

昨年11月14日(火)に実施された「香川県学習状況調査」の報告書が香川県教育センターから発表されました。県の結果と比較しながら約半年間の教育の成果と課題を検証し、改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。

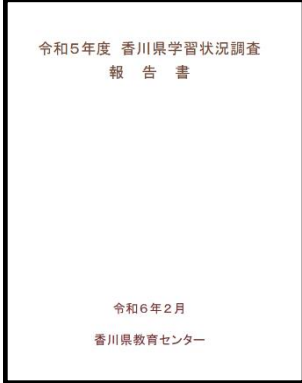
その中で、質問紙調査(全40問)の結果について考えていきます。肯定的な回答(そう思う+どちらかといえばそう思う)が県平均を上回ったのは31項目(78%)と非常に高い回答率を示しました。中でも、**県平均を5%以上上回ったものが7項目(下記グラフ参照)**あり、その設問の内容は、「**振り返り**」「**話し合い**」「**発表**」「**復習(テストの間違い直し)**」「**英語での問答**」「**明確な目標**」に関する項目です。特に振り返る活動については、県平均を大きく上回りました(+15%)。

これらの項目は、すべて**本校の教員が今年度大切にしてきた授業のスタイル**であり、そのことが子どもたちにも着実に浸透してきているものと捉えています。そして、こうした日々の授業の積み重ねが、教科に関する調査(ペーパーテスト方式)の好結果にもつながっている部分があると考えます。

一方、肯定的な回答が県平均をやや下回った(1~2%)のが8項目、5%以上下回ったのが1項目あり、それは、「**読書が好きですか**」という設問でした。新型コロナウイルスが蔓延していた時期は、図書室の開放もままならない状況であり、その影響が残っているとも感じています。しかし、5類移行に伴い、少しずつ図書室の開放機会を増やしたり、学級文庫を設置したり、新聞を閲覧できるようにしたりと、子どもたちが活字に触れる機会を増やしているところです。

さて、明日は、3年生は「第2回総合診断」、1・2年生は今年度初めての「学習の診断」が行われます。これまでの努力や学習習慣の成果を発揮すると期待しているところです。

3年生の卒業式まであと28日、1・2年生の修了式まであと38日となりました。卒業・修了前に待ち受ける、公立高校入試・学年末テストにそれぞれ全力を注ぎ、有終の美を飾ってほしいと願っています。



香川県学習状況調査質問紙調査 (対象：香川県下の2年生)

